



令和5年度
学校だより
10月号

自ら輝く ときわの子
～一人ひとりが輝く存在に～
互いに学び合い
自分らしさを発揮する子の
育成を目指します

令和5年9月29日
横浜市立常盤台小学校
TEL 331-4808
FAX 331-5429

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tokiwadai/>

成長につながる振り返りを

校長 松本 理孝

先日の授業参観・懇談会では、たくさんの保護者の方々にご来校いただきありがとうございます。いよいよ前期が終わり、10月10日(火)から後期がスタートします。それぞれの学年で校外学習、遠足、宿泊体験学習などが控えています。後期も「自ら輝く ときわの子～一人ひとりが輝く存在に～」をめざし、教育活動を行っていきたく思います。

6年生は、9月13日(水)～15日(金)に赤城宿泊体験学習に行ってきました。日光東照宮や富岡製鉄場の見学、赤城宿舎での野外炊事、キャンプファイヤーなど多くの活動を楽しんで行いました。そこでは、子ども同士の豊かな心のふれあい、集団生活の大切さなど、多くのことを学びました。その学びの1つとして、振り返りがあります。子どもたちは、この3日間それぞれの活動に振り返りを行いながら行動していました。特に、室長会議では、その様子がはっきりと表れていました。この室長会議、実は、4年から6年までの宿泊体験学習には必ずあります。そこでは、部屋の室長が集まって、自分たちの1日の行動を振り返ったり、次の日の行動の確認をしたりしています。今回の6年生では・・・

先生 「今日一日、自分たちの行動でよかったことは何ですか。」
子ども 「今日は、自分たちで進んで行動することができてよかったです。」
子ども 「次の行動が分からなかった子がいたので、声をかけてみると一緒に行動することができました。」
子ども 「キャンプファイヤーのとき、みんなで一つになって協力できたことがよかったです。」
先生 「1日目の振り返りを生かして、よかったことが増えて、よかったです。」
などなど ※2日目の夜の室長会議より

振り返りは、結果や原因、責任について考える反省とは違って、次に向けた改善点の洗い出しを行い、その改善点を実行することにあります。1日目の室長会議での振り返りでは、「次の行動の予定がよく分かっていなかったの、前もってしおりを読んだり、友だちと確認し合ったりしていきたい。」「室長として、みんなにもっと声をかけていきたい。」などが出ました。それを2日目の行動に生かし、大きな成果をあげていたことに子どもたちの成長を感じました。「一つ一つの活動を振り返り、次の行動に生かす。」宿泊体験学習では、こういった振り返りが繰り返して行われていきます。このことで、個として集団として成長していきます。

来年度から6年生の宿泊体験学習は、日光で1泊2日の活動にします。現状の学習は、活動が多く、学びも多いのですが、1日目の長いバス移動や2泊3日の活動が子どもたちにとって大きな負担となっていることもあります。そこで、来年度からは1泊2日とし、日光の豊かな自然や文化・歴史に親しむ活動を中心にし、そのなかで、子ども同士の豊かな心のふれあい、集団生活の大切さなどを学べるようにしていきたいと考えています。

最後に、前期のあゆみについてです。懇談会での各担任の説明のとおり、学習については観点別の3段階評価、行動については、十分満足な場合に○を付けています。そして、前期のあゆみには、所見がありません。子どもたちのがんばったところなどは、7月の個人面談で説明したり、子どもたちの成長を綴っているパスポートやノート、プリントに記してたりしています。そういった前期の振り返りを生かし、子どもたちは具体的なめあてを立てていくことで、後期の学校生活をより充実していくものにしていくよう指導していきます。